

茨城県第一回花とほうきの環境美化コンクールで大和第一小学校の花壇が優秀賞を受けた。十一月一日、表彰された。

このコンクールは、県民こぞって花に親しみ、郷土茨城を美しい花と緑でうづめ、暮らしの中に花と緑をとり入れ、県民のあたたかい心情と貴い奉仕によって、より美しくやさしい心をつくり育てる習慣を全児童、PTAの奉仕作業など、恒久的な郷土の美化と豊かな生活の創造を目的としており、とくに「第二十九回茨城国体」の開催を契機として、さらにこの運動を行政と国体および県民一体となつて一層の拡大をはかろうというものです。

大和第一小学校の花壇は、園芸クラブが中心となつて苗木づくりをおこない、これに全児童、PTAの奉仕作業など、マリーゴールドやサルビアがみごとに花を咲かせました。現在、園芸クラブの児童は、春の花壇づくりのため球根や苗づくりの準備にはりきっています。来春もまた、みごとに花で、児童や父兄の目を楽しませ、地域の人や通りすがりの人にも心をなごませることでしょう。

『茨城県第一回花とほうきの環境美化コンクール』

大和第一小学校の花壇が優秀賞



▲花壇の手入れをする大和第一小学校の園芸クラブ員

中小企業に無担保で融資

中小企業に無担保・無保証六十万円です。経営資金を融資する「中小企業経営改善資金融資制度」が十月一日からスタートしました。

これは、中小企業庁が四十八年度小規模企業対策の目玉商品として打出したもので、融資対象は、商業サービス業（常時雇用者二人以下）、製造業（常時雇用者五人以下）で、商工会の経営指導員による経営改善指導を受け、商工会長の推せんを受けたものです。

貸出限度は百万円（運転資金は五十万円）で、貸出期間は二年以内、金利年七割、取扱金融機関は国民金融公庫で融資枠は全国で三百億円、麻生町の本年度貸付配分は五百

人権擁護委員 三名委嘱される

昭和四十八年十月一日付をもって法務大臣より人権擁護委員に、久保田一郎（四鹿）小沼信（粗毛）・宮崎宮之助（島並）氏が、委嘱されました。

人権擁護委員の職務は次のとおりです。

(一) 自由人権思想に関する啓蒙及び宣伝をなすこと。

(二) 民間における人権擁護運動の助長に努めること。

(三) 人権侵害事件につき、その救済のため調査及び情報の収集をなし法務大臣へ報告、関係機関への勧告等適切な処置を講ずること。

(四) 貧困者に対し訴訟援助その他の人権擁護のため適切な救済方法を講ずること。

(五) その他人権の擁護に努めること。

物価スライド制導入など 国民年金が改正

国民年金法の一部改正法案が、さきの国会で成立し、年金給付額の大幅引上げ、物価スライド制導入、五年年金再加入、未納者の特例納付、また、福祉年金の支給制限緩和、二級障害福祉年金の支給老齢特別給付金の新設など、

※自営業の方は心にかけたと

計	一か月分保険料		一年間の保険料		一年間の前納額	
	48年12月まで	49年1月より	48年11月・49年10月			
定額分	五五〇円	九〇〇円	一〇、一〇〇円	九、八四〇円		
附加年金	三五〇円	四〇〇円	四、七〇〇円	四、五八〇円		
			一四、八〇〇円	一四、四二〇円		

四HC十周年大会

麻生町農村青少年クラブ連絡協議会（通称4Hクラブ、高野利朗会長）は、昭和三十一年に「農業及び生活改善のための研修」等の目的で、農業後継者を中心に発足、今年で十年になったことから、同会歴代会長、町長、農業改良普及所長、農協組合長など関係者多数を招いて、十月二十日、国民宿舎白帆荘において十周年記念大会を開催しました。

記念式典では、4Hクラブ発足以来の貢献者二十九名に感謝状を贈呈、このあと、上野満利根農業協同組合長の講演「これからの農業と農業後継者の課題」を聞いたりして今後の活躍の糧としました。4Hクラブのこれからの活躍を期待いたします。

戸籍の窓口